

2011中間発表会 活動報告書

# **ISFJ *Inter-University Seminar for the Future of Japan***

文責：今田真敬

【開催日時】

10月9日（日）

【場所】

同志社大学新町キャンパス

【参加大学・ゼミ】

13大学 31ゼミ

【企画趣意】

ISFJは、「学生の政策提言を通じた、学生の望む日本社会の実現」という理念のもと活動を行っており、その最終的な目的は学生により提言された政策が実現されることです。そのためには、提言された政策が現実社会の問題に対する解決策として実用的であること、また、政策が実現可能であることが重要になります。

中間発表会はその政策提言論文の進捗状況の発表を行う場として位置づけられており、論文の分野ごとに設置する分科会に実務家や大学教授の方々をゲストコメンテーターとしてお招きし、ご意見・ご講評をいただくことで論文内容の一層の充実を図ることを目的としております。

【企画構成】

第一回中間発表会では、類似した研究テーマで論文を執筆してきた5～8の研究班で構成される全8分科会ごとの会場に分かれ、執筆途中の政策提言論文の中間報告を行いました。その各研究班ごとの発表内容に対しゲストコメンテーターの方々にご意見・ご講評をいただきました。

【企画責任者より】

中間論文発表会は勉強会と中間カンファレンスを経た参加者にとって、より自分たちの論文をより完成に近づける機会として位置づけることができます。その意味で今回の発表会はより本番の政策フォーラムを意識したものになりました。発表会は、テーマに沿っての分科会に分かれ、それぞれの分科会では各研究会の発表とそれに対する質疑応答、及びコメンテーターの方々からの御講評という内容で行いました。ほとんどの研究会が15分間というプレゼン時間を守り、参加者による質疑応答も積極的に行われました。

ゲストの方々からの御講評は、事前に参加者が執筆した中間論文を見て頂いていたため、細かい部分に対して的確なアドバイスとなりました。論文の基本的な構成、分析のアプローチの仕方などについても具体的な助言をいただくことができました。参加者にとっては、執筆中の論文をより質の高いものにするための糧となったのではないのでしょうか。

後に予定している政策フォーラムに向けて、参加者のみならず運営スタッフ共々今後も精進して参りたいと存じます。

【ゲストコメンテーター】

<農業分科会>

奈良県地域振興部次長兼知事公室次長 村井浩 様  
近畿大学 農学部 農業生産科学科 農業政策学研究室 准教授 宇山満 様

<少子高齢化分科会>

関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授 小國英夫 様  
追手門学院大学社会学部社会学科潤教授 栗山直子 様  
京都府議会議員 尾形賢 様

<教育制度改革分科会>

大阪大学教育実践センター准教授 斎藤貴浩 様  
立命館大学教育開発推進機構 教授 沖裕貴 様

<資源・エネルギー分科会>

大阪大学環境イノベーションデザインセンター特任准教授 原圭史郎 様  
関西社会経済研究所事務局次長 島章宏 様

<交通・環境分科会>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング政策研究事業本部 研究開発第2部 社会資本マネジメント研究グループ研究員 清谷康平 様

<外交戦略・金融分科会>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 政策研究事業本部 研究開発第2部 地域政策研究グループ研究員 木下祐輔 様

神戸大学大学院経済学研究科教授 中西訓嗣 様

<地域政策・震災復興>

京都府立大学公共政策学部教授 青山公三 様  
甲南大学マネジメント創造学部講師 倉本宜史 様

<経済成長戦略・新産業>

同志社大学経済学部教授 八木匡 様  
関西社会経済研究所研究員 山本周吾 様

<格差社会・情報社会>

同志社大学社会学部社会学科教授 尾嶋史章 様  
立命館大学大学院先端総合学術研究科教授 後藤玲子 様

